

平成29年度 枕崎市政の動きは…



平成29年度

施政方針



施政方針演説をする神園市長

平成29年枕崎市議会第1回定例会が3月3日招集され、神園征市長が平成29年度の市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

コンテナ取扱施設の整備に向けて

平成24年以来、これまで多くの方々の御協力のもと、枕崎漁港における冷凍コンテナ取扱施設の整備に向けて取り組んできましたが、昨年、地元国会議員の方々の力添えを得て、鹿児島県知事や水産庁幹部の皆さんに枕崎漁港の現状を訴えたことにより、明るい兆しが見え始めたところです。今後も国や県など関係機関と連携しながら計画を進めます。

地方創生関連施策

平成27年度に策定しました枕崎市地方創生総合戦略に基づき、本市独自の地方創生を推進していくため、新年度におきましては、地域連携型の交付金対象事業である「香港

における鹿児島県南部観光物流推進事業」のほか、「新規雇用創出就業環境改善事業補助」、「移住・交流推進支援事業」など、17の総合戦略事業を実施します。これらの事業は、財源の一つとして「ふるさと応援寄附金」を原資とする「ふるさと応援基金」を活用することとしておりますが、

この「ふるさと応援寄附金」については、寄附金を財源として実施する事業の見直し等を行うとともに、更なる地元産品の掘り起こしによる返礼品の一層の充実を図り、寄附金総額の増大を目指します。

公共施設の整備

「枕崎市公共施設等総合管理計画」に基づき、耐震化を含めた老朽化施設の整備や除却を実施し、過疎債等の活用を図りながら計画的かつ適正

な管理を行うほか、庁舎本館1階トイレについては、障害者や高齢者、子ども連れの方々に配慮した改修を行います。また、民間木造住宅の耐震診断及び改修の費用に対する助成など安全な住環境づくり支援、未就学児へのインフルエンザ予防接種の費用の助成など子育て支援にも取り組んでいくこととしております。

友好都市盟約5周年事業の実施

本年4月に5周年を迎える稚内市との友好都市盟約について、両市市民が互いに訪問し合う「相互訪問事業」、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」の稚内港入港、同校と北海道稚内高校との交流などの「友好都市盟約5周年事業」を実施し、また、小中高校生

の継続的な相互派遣交流事業の実施に向けた検討及び協議を行います。
※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。
△ページに掲載していません。
【市長の部屋】施政方針 ↓
平成29年度施政方針 ↓

